



氏名	所属	プラン・事業タイトル
ビジネスプラン部門/高校生の部		
布施龍賢 中沢千鶴	前橋商業3年・3年	食品ロス削減アプリ「Food Map」
河野華子	前橋女子2年	中高生留学支援アプリの開発
小泉佑弥 大野愛美	市立太田3年・3年	～地元企業と高校生をつなぐお弁当～ 弁チャー
中沢陽	県立前橋2年	Ferkel save テクノロジーで養豚における 食糧問題を解決する
ビジネスプラン部門/大学生・専門学校生の部		
伊藤チア	中央情報経理専門学校1年	RE:Arize:精神疾患の人のための社会復帰 プログラム
松永農人	群馬大3年	患者さんの初診に役立つサービス「Medizin」
ラメザニ アイディーン	共愛学園前橋国際大3年	eスポーツのための新たなスポーツジム「eGG」
ビジネスプラン部門/一般の部		
遠藤春奈	Mighty Konjac こんにちは 工房 迎しよう	No konjac No life,世界に広がれ! 蒟蒻革命! No konjac No life,世界に広がれ! 蒟蒻革命!
山田俊介	nunology	リンパ浮腫滲出液ケア専用シート&ホル ダー「とりこっこん」
丸山彬	丸山法律事務所	Fu-Fu(フー・ウ・フー)
スタートアップ部門		
新井舞	Dream Assort	親子に優しく寄り添う小児用ウィッグ
矢野健太	パンフォーユー	オフィス・パンや
石井伸和	ファントム	Casper(キャスパー)で人の動きを可視化 医療現場や介護現場をサポートするAIカメラ
イノベーション部門		
関良則	エスアールケイ	破壊的イノベーションによる「温泉ゲスト ハウス」の創造
原田悠平	アルケア	親はイキイキ、社員はバリバリ。介護離職 予防「ロコモバトン」
池田道成	じぶんカンパニー	治療から予防の時代へ。ヘルスケアチーム として日本一を目指すジム

(エントリー順)

群馬イノベーションアワード2次審査



ファイナル16組決定

7回目を迎えた起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)2019」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)の2次審査が27日、前橋市の同社で開かれ、12月7日

のファイナルステージ(公開最終審査)に進出する16組が決まった。2次審査には、エントリー総数428件の中から1次書類審査を通過した47組が臨んだ。3分間のプレゼンテーションの後、審査員からの質疑に応じた。起業や第二創業を目指すビジネスプラン部門は高校生の部で4組、大学生・専門学校生の部で3組、一般の部で3組が選ばれた。創業5年未満の起業家を対象としたスタートアップ部門、創業5年以上の事業者が対象のイノベーション部門はともに3組が選出された。

審査員を前にビジネスプランを発表する高校生の出場者

た。介護や健康、食などをテーマとした発表があった。審査は田中仁・ジンスホールディングスCEO、腰高博・コシダカホールディングス社長、荒井正昭・オーブンハウス社長、内海ディンクス上席執行役員、阿部和也・上毛新聞社事業局長のほか、GIAの特別協賛社とパートナー企業、フィナンシャルサポーター

が担当した。16組は12月7日、ヤマダグリーンドーム前橋でのファイナルステージに臨む。特別講演として無料通信アプリを運営する「LINE(ライン)」の元社長で、ファッションや美容など女性向け動画配信を手掛ける「C Channel」社長の森川亮氏が登壇する。正午開場、午後2時開幕。入場無料で、事前申し込み不要。